



次世代に負担を残さない！

どうする？洞爺湖町！

■問合せ 企画財政課行財政改革推進室 (☎ 74-3004)



シリーズ5回目のテーマは「見直しのポイント」です！

Vol.5 これからの行財政運営に向けて

これまで4回にわたり、洞爺湖町が抱える行財政運営の課題についてお知らせしてきました。今回から、様々な課

題がある中、どういうまちづくり、行財政運営を目指していくのか考えてみます。

■課題の振り返り

こんな課題がありました。

- vol.1 公共施設
- vol.2 人口減少
- vol.3 人手不足
- vol.4 財政構造

老朽化する施設
不足する働き手
減少していく収入
なかなか減らない支出
ニーズの多様化・高度化

- 1.物価高騰、ニーズの多様化・高度化、施設の老朽化→たくさんのお金が必要
- 2.人口減少、地域経済の疲弊→必要なお金が減っていく。支出をまかなえない
- 3.働き手の不足→行政サービス、維持管理などできない。企業も行政組織も疲弊



人手不足やコロナ禍などで、地域の体力が減退する中、行財政運営でも今までできていたことができなくなってきています。

また、新たな問題に対しては今までの支出抑制の考えだけではさらなる疲弊になりかねません。リスクを減らし、持続可能性を高めるには、今までと同じような取組では追いつかないのです。

このままでは町が倒れてしまいかねません。そうならないためには何をしないといけないのでしょうか。

■課題はあるけど、これから何が大事なの？

大事なものは、まちに元気があって、町民が安心した暮らしを続けられること。そのためには安定した行財政運営に向けた改革が必要なのです。

洞爺湖町では、町民の皆さんが安心して幸せな暮らしができるように様々な事業や行政サービスの提供、施設などの維持管理を行っていますが、もし、この先に町が破たんす

るといった不安があったらどうでしょうか？
安心と元気がある町を続けていくために行財政運営の見直しを進めています。

■改革に向けた取組のポイントとは？

現在のまちや行政組織などの状況を踏まえると、あれもこれもはできません。成果に結び付けていくために期間と取組を絞って集中的に進めています。

町の元気と町民の安心のためには

行政サービスの持続のためには

次世代に負担を残さないためには

→ 行財政運営の見直しが不可欠

1. できるだけの人手の必要な業務を見直していきましょう。
2. どうしても人手がないとできない業務には人手を回しましょう。
3. 業務継続や地域経済の活性化に十分なお金を使えるように財源を確保していきましょう。



3つのポイントで見直しを進めています！

■次号に続く

次号は具体的な取組についてお知らせします。